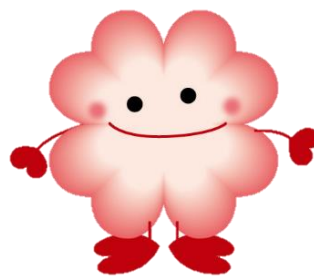


# るくるんの ボランティアニュース



朝霞社協マスコットキャラクター  
アーシャ♥るくるん

発行 社会福祉法人 朝霞市社会福祉協議会 (ボランティアセンター)  
〒351-8560 朝霞市大字浜崎51-1 総合福祉センターはあとぴあ 3階  
TEL 048(486)2485 FAX 048(486)2418  
E-mail volo@asaka-shakyo.or.jp URL <http://www.asaka-shakyo.or.jp/>

## 新しい生活様式に合わせての活動

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、自粛生活を余儀なくされて地域活動の拠点である「通いの場」にも大きな影響が出ています。朝霞市内でも活動ができない、人が集まることができない等、多くの団体からご相談いただきました。そこで、新しい生活様式に合わせ、この時期だからこそできる活動をご紹介します。

※参考 東京都健康長寿医療センター研究所 「通いの場×新型コロナウイルス感染ガイド」

### 1. スタッフ間のコミュニケーションの強化

スタッフ同士が電話やメールで連絡をとりながら、再開に向けて通いの場の目的について話し合っておくことが重要です。いつも活動が忙しく、スタッフ間でなかなか活動を振り返ることができなかつたかもしれません。この期間にしっかりコミュニケーションを図ることで、再開に向けての準備を進めていくことができます。また、スタッフ同士の意識を高めることにもつながります。

### 2. 今だからできる活動を実践する

参加者の様子が気になり、定期的に電話やテレビ電話をしている、簡単な折り紙の工作を参加者宅のポストに入れて、オレオレ詐欺に気をつけるよう手紙を配っている、生活で困っていることがないかアンケートを行った等を実践している団体もあります。きっと、参加者も不安な日々を過ごしているでしょう。そんな生活の中、自分のことを気にしてくれているスタッフの存在は大きいと思います。前述の内容を参考に、今だからできる活動についてスタッフ間で考えてみてはいかがでしょうか。



# 彩の国 ボランティア体験プログラム夏休み期間の 受入中止について

毎年、夏休み期間中に実施している「彩の国ボランティア体験プログラム」ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、協力施設においてもボランティアの受入が難しいことから受付を中止とさせていただきます。毎年多くの学生や市民の皆様にご参加をいただいておりますが、ご了承くださいませようお願いいたします。

## ボランティア保険お忘れではないですか？

新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティア活動を自粛されていた方も多いかと思えます。6月以降少しずつではありますが、活動を再開しているというお声も聴いています。活動再開時には、ボランティア保険に加入したか確認していただき、未加入のまま活動されないようお願いします。昨年度から保険の内容が一部変更されていますので、詳細についてはボランティアセンターにお問い合わせください。※新型コロナウイルス感染症にも対応しています。

## 令和2年 7月豪雨災害に関するボランティア活動について

令和2年7月3日以降、九州地方を中心に記録的な大雨となり、河川の堤防決壊等による洪水や土砂崩れ等が発生しました。災害ボランティア活動は、個人個人の自由な意思に基づいた活動であることが原則です。しかし、新型コロナウイルス感染症が懸念されている現在の状況下では、災害ボランティアを進めることで、感染を広めてしまう恐れがあります。そのため、今回の災害における今後のボランティア活動については、被災地からボランティア募集に関する発信があるまでは、被災地へ向かわないようお願いします。また、現地に行かずとも募金という形で被災地を応援する方法もあります。募金箱は、市内公共機関に設置されており、朝霞市社協福祉協議会では窓口にて受付をしています。ご協力よろしくをお願いします。



「仲間を募集したい」「イベントのお知らせがしたい」など、ボランティアに関する情報をお寄せください。郵送・FAX・E-mailなどで、ボランティアセンターまでお知らせください。

